

8. 府の審査・評価の結果

審査の結果	経営状況、事業の実施状況その他の事項に関する府の評価結果及び指導・助言	点数(合計)	役員業績評価
成果測定指標の7項目中5項目で目標達成している。 ○最重点目標 ・国際会議の成約件数が、目標値40件に対して実績値62件と目標を大幅達成となったのは、令和7年度に開催された大阪・関西万博が契機となり、これまで法人が実施してきた訪問営業やPR等の取組が結実したためと考える。 ○事業効果、業績、CS ・国際会議の開催件数は、令和7年度、万博を契機とした国際会議が開催されたことにより、目標値70件に対し実績値73件と目標達成となった。 ・主要3施設(10階会議室、メインホール、イベントホール)稼働率は、ホテル宿泊代金の高騰や宿泊場所がないといった万博が開催された令和7年度特有の要因により、仮予約から本予約へ至らなかった催事が多かったことから、目標値89.5%に対して実績値82.9%と目標未達成となった。 令和8年度は、令和7年度のような要因はないが、本予約に繋げるための仮予約後のフォロー等稼働率を上げるための取組みについて、より一層注力していただきたい。 ・事業売上についても、万博開催を契機とした会議開催件数の増加という要因が寄与し、目標値1,961百万円に対して実績値2,169百万円と大幅目標達成となった。 ・CSについて、施設利用料100万円以上の主催者に対するお客様の声取得率は100%と目標達成となった。 ・お客様満足度(再利用の意向)の項目については、また利用したいという明確な意思表示でないことから「不満足」として取り扱う「わからない」の選択肢を回答された方が複数名いたことにより、目標値98.0%に対して実績値97.3%と目標未達成となった。 ただ、「わからない」と回答された理由も不明であったことから、令和8年度からは、「わからない」の回答を満足・不満足のいずれにも含めず算定する取扱いとする。 ○財務、効率性 ・営業利益は、万博開催を契機とした会議開催件数増加に伴う売上高の大幅増、及び令和6年度に引き続き経費抑制にも努めた結果、大幅目標達成となった。	(評価) ・「主要3施設稼働率(10階会議室、メインホール、イベントホール)」及び「お客様満足度(再利用の意向)」は目標未達成となったものの、最重点目標をはじめ、その他の成果測定指標は全て目標を達成しており、全体として着実に成果を上げたことは評価できる。 ・「主要3施設稼働率(10階会議室、メインホール、イベントホール)」については、催事の開催見込みを的確に把握し、本予約への移行や新たな案件の獲得につなげるなど、今後の稼働率向上に向けた取組みを一層進める必要がある。 (指導・助言) ・「主要3施設稼働率(10階会議室、メインホール、イベントホール)」については、仮予約後の顧客フォローの強化によって、本予約への移行につなげること。また、本予約に至らない場合においても、速やかな営業活動により稼働率の向上に努めること。 ・「アジア・大洋州有数のMICE都市大阪」の実現に資するよう、これまでに構築した国内外のMICE関係者等とのネットワークを効果的に活用し、将来の開催につながる案件を継続的に確保するなど、国際会議の誘致活動を一層推進すること。	89	B

《参考》9. 「令和8年度大阪府行政経営の取組み」における方向性(令和8年2月)

- 抜本的見直し
- ・府の法人に対する関与のあり方については、今後の施設のあり方とあわせ、その具体的な方向性を検討する